ROAD TO CHAMPIONSHIP

SSK
Baseball, it's our game.

第3回日本少年野球
SSK旗争奪大会

BOYS LEAGUE
(公財)日本少年野球連盟

開催期間　令和3年6月19日-6月27日

第52回日本少年野球選手権大会愛知県中央支部予選

会 場　IHIグラウンド ・ 豊田運動公園 ・ トヨタ健保グラウンド ・ 他

【主催】　（公財）日本少年野球連盟　【主管】　（公財）日本少年野球連盟 愛知県中央支部

【共催】　株式会社エスエスケイ

【後援】　愛知銀行・BSO株式会社

SSK Baseball, it's our game.

あい、ふれあい、きずきあい 愛知銀行

BSO

公益財団法人　日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

愛知県中央支部

野　球　を　し　な　が　ら
団結・友愛・規律・勇気・忍耐
を　身　に　つ　け　よ　う

（公財）日本少年野球連盟規約　　第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人　日本少年野球連盟

会長　　惣田　敏和

［　本部　］　大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階
TEL　（06）6649-0061

野球をやるならボーイズリーグ

第3回日本少年野球SSK旗争奪大会役員名簿

《大会会長》

愛知県中央支部支部長　田畑　良一

《大会副会長》

㈱エスエスケイ名古屋支店支店長　齋木　英志

㈱エスエスケイ名古屋支店　販売二課　次長　森脇　俊将

《大会運営委員長》

中央支部企画運営部長　東　亜行

《大会運営副委員長》

中央支部行事委員長　松尾　勝

中央支部企画運営副部長　多和田　健次

中央支部行事副委員長　三河　一輝

《大会運営委員》

愛知安城ボーイズ代表　西脇　利幸

愛知セントレアガールズ代表　阿部　充則

愛知刈谷ボーイズ代表　鈴木　直実

愛知知多ボーイズ代表　濱野　晃一

愛知知立ボーイズ代表　土屋　尚史

愛知東郷ボーイズ代表　黒沢　淳

愛知名港ボーイズ代表　友田　淳雄

愛知港ボーイズ代表　小河　徳和

中京ボーイズ代表　森　義弘

豊田ボーイズ代表　多和田　健次

名古屋ボーイズ代表　田中　秀明

名古屋中央ボーイズ代表　樋田　善光

名古屋緑ボーイズ代表　坂野　晃嗣

東名古屋ボーイズ代表　千田　知弘

三好東郷ボーイズ代表　鳥居　剛

《大会顧問》

日本少年野球連盟会長　惣田　敏和

日本少年野球連盟副会長　堀内　健

日本少年野球連盟担当理事　脇田　勝

《大会参与》

愛知県中央支部相談役　深谷　博之

《大会事務局長》

愛知県中央支部事務局長　三河　一輝

《大会副事務局長》

愛知県中央支部副事務局長　石川　博章

《大会広報委員長》

愛知県中央支部広報委員長　石川　博章

《大会広報委員長》

愛知県中央支部副広報委員長　ー

《大会会計部長》

愛知県中央支部会計部長　加藤　剛司

《大会会計副部長》

愛知県中央支部会計副部長　鈴木　直実

《大会審査指導部長》

愛知県中央支部審査指導部長　丸山　晋弘

《大会審査指導副部長》

愛知県中央支部審査指導副部長　ー

《大会審判長》

愛知県中央支部審判長　鶴見　淳

《大会副審判長》

愛知県中央支部副審判長　高岡　晋

北山　肇

中野　英志

《大会審判員》　支部審判員諸氏

公益財団法人日本少年野球連盟　ボーイズリーグ

第 52 回 選手権予選兼第 3 回 SSK 旗争奪大会

				本部		【グラウンド担当】
1 日目	2021年6月19日（土）	A	球場	◎	IHIグラウンド	東海ボーイズ
		B	球場		鶴弥阿久比工場グラウンド	名古屋緑ボーイズ
		C	球場		トヨタ健保グラウンド	東名古屋ボーイズ
		D	球場		豊田運動公園野球場	愛知港ボーイズ
2 日目	2021年6月20日（日）	A	球場	◎	IHIグラウンド	東海ボーイズ
		D	球場		豊田運動公園野球場	東名古屋ボーイズ
3 日目	2021年6月26日（土）	E	球場		阿久比球場	東海ボーイズ
4 日目	2021年6月27日（日）	A	球場	◎	IHIグラウンド	東海ボーイズ
予備日	2021年7月3日（土）	A	球場	◎	IHIグラウンド	東海ボーイズ

中学生の部

		1日目	2日目	3日目	4日目
1	東海ボーイズ	A-1 10:00	A-1 10:00	E-1 10:00	A-1 14:00
2	愛知名港ボーイズ				
3	名古屋ボーイズ				
4	東海中央ボーイズ	A-2 14:00	A-2 14:00		
5	愛知刈谷ボーイズ				
6	中京ボーイズ	B-1 9:00			
7	名古屋緑ボーイズ				
8	東名古屋ボーイズ	C-1 10:00	D-1 10:00	E-2 14:00	
9	愛知知立ボーイズ				
10	三好東郷ボーイズ	C-2 14:00			
11	豊田ボーイズ				
12	愛知港ボーイズ	D-1 10:00	D-2 14:00		
13	名古屋中央ボーイズ				
14	愛知知多ボーイズ	D-2 14:00			
15	愛知安城ボーイズ				

最終更新日：2021/6/4

大 会 規 定

1・チームの登録選手は 11 名以上 25 名以内（ベンチ入りは 20 名以内）とする。
2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
3・審査証は当年度発行のものとする。
4・登録選手および登録されたチーム責任者(代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者)、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)及び審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが,監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、その時点で審査のうえベンチ入りできる。
また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、ベンチ入りを認める。
5・チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
6・組み合わせの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
7・監督(背番号 60)、コーチ(背番号 50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
8・試合開始時刻 60 分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を 5 部、投球回数記録副表 3 部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
9・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
10・試合開始予定時刻までにチームがグランドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
11・試合方法など
(1) 各試合は 7 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 2 時間（決勝戦は 2 時間 20 分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
(2)4 回終了時 10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
(3)7 回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 8 回(決勝戦は 10 回)あるいは試合開始から 2 時間(決勝戦は 2 時間 20 分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
12・(1) 投手は、１日最大８０球とし、連続する２日間で１２０球以内とする。
連続する２日間で８０球を超えた場合、３日目は投球を禁止する
(2) ３連投（連続する３日間）する場合は１日の投球数を４０球以内とし、 ４連投（連続する４日間）は禁止とする。 なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない。
ダブルヘッダーの場合で２試合に登板した場合は連続２日間投球したこととする。
また、１試合のみ投球した場合は１日の投球とする。
※詳細は別紙投球数制限資料参照。
また移行期間のため、資料に掲載されていない事象が発生した場合は、支部内にて判断とする。
13・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は 1 試合で攻撃 2 回と守備 2 回の計 4 回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで 1 回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
(2)守備側の投手に対する指示、伝達が 3 回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
(3) 内野手が 2 人以上投手のところに行った時も 1 回に数える。
(4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30 秒以内」とする。
14・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が 2 回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
15・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。

16・監督またはコーチが投手に指示などをするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
17・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
18・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
19・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
20・各チームは同色のヘルメット 7 個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2 組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
23・グランドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
26・試合前のシートノックは原則として 5 分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

（1）ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

（2）ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

（1）特別規則

(イ) 延長 8 回あるいは試合開始から 2 時間を超えて（いずれか早い方）決勝戦は 10 回あるいは 2 時間 20 分を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。

(二) この場合の代打および走者は認められる。

【　AED（自動体外式除細動器）所持の確認　】

・選手審査時にチームは AED を所持しているか確認すること。

注意）AED には有効期限があります。AED 所持チームは、その有効期限に留意して常に作動できる状態にあるか確認して下さい。

【　熱中症対策特別規定　】

（1）　球場責任者の判断により、（2 回・4 回・6 回裏終了時）5 分間のインターバルを設ける

（2）　上記のインターバルを設けた場合は試合時間にカウントしない

大会開催運営に関するガイドライン（新型コロナウィルス感染拡大防止対策）

連盟主催大会、地区大会及び練習試合を行うにあたり以下の事項、対策を講じる事を運営の基本とし、連盟通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。
尚　大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて　当日の検温（37.5 度以下）並び体調に異常が無いか確認をし　各自出来る限り　２ｍ以上の距離を取り　マスクを着用し　密集しないようにする。

１．　大会開会式、閉会式を禁止とする。表彰式は最低限の人数、時間で簡素に行う。
２．　（１）大会運営方法
・運営（球場）責任者、及び運営役員　　３名
　放送 1～2 名　記録　１名　　グランド整備等運営補助者　5 名程度
　室内本部は必要最低限の者とし、屋外（スタンド）とする。
・試合間隔は試合時間含め 3 時間を取り　密にならないよう運営する。
・試合ベンチはグランド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い
　密度が高くならないように設営する。
・チーム到着時，帰途時の挨拶は「無し」とし　メンバー表等の提出のみとする。
・試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし　代表のみが立ち会う。
　また試合前のメンバー表交換の集合は　球場責任者、審判、監督、主将で行う。
・接待は「無し」とし　飲料（個別ペットボトル）、弁当等は１ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。
・本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
・試合会場入りは１時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。
＊大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。
（2）試合に関して
・打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。
・指示、掛け声は飛沫が飛ばないよう大声を出さず行う、またメガホンは禁止とする
・試合開始、終了の挨拶は声を出さず　礼のみで行う。
・捕手は防具を自ら着用し　補助者を使わない。
・審判はマスク着用し　判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
＊マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為　時間を取るなど配慮が必要です。

（3）参加チームについて
・会場入りするチーム構成はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手 20（25）名以内及び保護者の応援はマスク着用し観客席にて２ｍ以上の間隔を取り、声を出さず見学のみとする。
・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。
・昼食を取る場合　対面にならないよう２ｍ以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。
・大会会場へは１時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。
・選手移動については全ての車両に於いて　こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。
・宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。食事の時は対面。密集にならないよう会話は控え速やかに食事をする。
＊大会（試合）に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、
消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。

以上が大会のガイドラインでありますが感染のリスクがゼロではありません。
各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。
尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。

以上

【　投球数制限について　】

・２０２１年度は周知期間とする
・２０２２年度よりすべての構成団体において完全適用とする

１．中学生（レギュラーの部）

１）レギュラーの試合での登板は以下の通り制限する

① １日最大８０球とし、連続する２日間で１２０球以内とする
連続する２日間で８０球を超えた場合、３日目は投球を禁止する

② ３連投（連続する３日間）する場合は１日の投球数を４０球以内とし、
４連投（連続する４日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの場合で２試合に登板した場合は連続２日間投球したこととする
また、１試合のみ投球した場合は１日の投球とする

③ 大会中は１日８０球以内とし、翌日投球を休めば３日目は８０球の投球を可能とする

④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
３連投させたい場合の１日目及び２日目（ダブルヘッダーの場合は１試合目）の４０球以上はカウントされる

⑤ 連続する２日間で８０球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても
出場できない

⑥ ボークは投球数としない

⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）

⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

⑨ ２年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮すること

２） 練習の中での全力投球は以下の通りとする
１日７０球以内、週３５０球以内とする
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備　　考
投手Ａ	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。（打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球）
投手Ｂ	80	40	休	80	0	80	第1日目80球、第2日目40球で連続する2日間で120球となったため、第3日目は投手・捕手として出場できない。（また、2日間で80球を超えているので第3日目は捕手して出場できない規定もある。投手Ｄ参照）
投手Ｃ	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、第4日目は投手・捕手として出場できない。第4日目が休みだったので、第5日目80球、第6日目40球の投球は可能。
投手Ｄ	40	45	休	30	60	休	第1日目、第2日目で80球を超えたため、第3日目は投手・捕手として出場できない。第4日目、第5日目で連続する2日間で80球を超えているため、第6日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手Ｅ	40	40 40	休	80	0 40	休	第1日目、第2日目で40球以内の3連投をしているため、第3日目は投手・捕手として出場できない。第4日目は80球のため第5日目は投球した時点から1試合目に登板していなくても連続する2日間で80球を超えているため、第6日目は投手・捕手として出場できない。
投手Ｆ	30 50	休 ＊ 捕 手 可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、＊連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は、第5日目は投手・捕手として出場できない。

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「０」は登板しなっかった試合。
※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

４．小学生（ジュニアの部）

１）ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

① １日最大６０球とし連続する２日間で１００球以内とする
連続する２日間で６０球を超えた場合、３日目は投球を禁止する

② ３連投（連続する３日間）する場合は１日の投球数を３０球以内とし、
４連投（連続する４日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの投球を禁止する

③ 大会中は１日６０球以内とし、翌日投球を休めば３日目は６０球の投球を可能とする

④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない

⑤ 小学部においては投手から捕手の制限は設けない

⑥ ボークは投球数としない

⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）

⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

２） 練習の中での全力投球は以下の通りとする
１日５０球以内、翌日は投球してはならない

「小学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備　　考
投手Ａ	60	0	60	0	60	0	60球投げた翌日には登板していないため、翌々日には60球投球できる。 （打者終了時に60球を超えても、1試合分の最大カウント数は60球）
投手Ｂ	60	40	休	60	0	60	第1日目60球、第2日目40球で連続する2日間で100球となったため、 第3日目は登板できない。
投手Ｃ	30	30	30	休	60	40	30球以内で連続する2日間で60球以内であれば3日間連続登板可能。 ただし、球数に関わらず3日間連続登板した場合は、第4日目は登板できない。 第4日目が休みだったので、第5日目60球、第6日目40球の投球可能。
投手Ｄ	30	35	休	20	40	休	第1日目、第2日目で60球を超えたため、第3日目は登板できない。 第4日目、第5日目は60球以内だが、第5日目で30球を超えているため、第6日目の3日間連続登板はできない。
投手Ｅ	60 休	40	休	休 40	60	休	小学生の部は、ダブルヘッダーの場合、どちらかの試合しか登板できない。 登板した翌日は100球まで投球可能。翌々日は登板できない。
投手Ｆ	60	40 休	休	30	30 休	30	第1日目60球、第2日目1試合目は40球までで、第2日目2試合目と第3日目は登板できない。 第4日目と第5日目1試合目の各試合で30球以内であれば、第5日目2試合目は登板できないが、第6日目は30球までは投球できる。

※数字は投球数。「休」は投手として出場できない日。「０」は登板しなっかった試合。
※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

５．愛知県中央支部の取組み事項

【運営方法】

・投球カウンターを使用
・審判は基本的にカウントしない
・本部席にて役員が両投手の投球数をカウント
・イニング終了後に球数を確認、場内アナウンス
・投手が８０球に達した時に場内アナウンス

	1	2	3	4		5
Aボーイズ	⑫	⑨				
Bボーイズ	⑩	⑦				

例） Aボーイズ〇〇投手、２回の表の投球数は９球、トータル２１球です。（２回表終了後にアナウンス）
Bボーイズ〇〇投手、２回の裏の投球数は７球、トータル１７球です。（２回裏終了後にアナウンス）
Aボーイズ〇〇投手、投球数が８０球になりました。

東海ボーイズ

代表	丸山晋弘
監督	中野邦英
コーチ	松本修治
マネージャー	宮本博司

背番号	氏名	学年
主将 15	宮本真司郎	3年
1	川瀬陽翔	2年
2	岡本力哉	2年
4	岡本一倖	3年
5	武田義弘	2年
7	山﨑翔太	2年
8	水野創太	2年
11	淵上麗音	2年
17	溝下貴央	3年
19	大野陸真	3年
24	馬場陽斗	3年
25	竹内理斗	3年
28	印宮朝飛	3年
30	岩崎千宗	3年
34	竹内優弥	3年
35	森田海翔	3年
45	戸嶋洸志	3年
48	杉山由眞	2年
51	皆川皓也	3年
55	吉川敦	3年
62	草野綾斗	3年
84	坂本一虎	3年

愛知名港ボーイズ

代表	友田淳雄
監督	奥村尚
コーチ	森下智貴
マネージャー	奥村治

背番号	氏名	学年
主将 0	原田悠太郎	3年
1	鵜飼厚希	3年
2	野上士耀	2年
6	前田蓮	2年
9	深谷凛太朗	3年
10	口野駿太朗	3年
11	北村理駈	2年
12	浅田健輔	3年
13	児玉朔大郎	3年
17	安部遼平	3年
18	畠下龍空	2年
19	西田圭吾	3年
20	佐藤息吹	3年
23	岡田良光	3年
24	杉本龍之介	2年
27	岡田良貴	3年
29	阪野拓海	3年
30	田中翔也	3年
44	川尻結大	2年
88	阿部竜誠	3年

名古屋ボーイズ

代表	田中秀明
監督	水谷孝
コーチ	中村大助
マネージャー	工藤知久

背番号	氏名	学年
主将 2	工藤翼	3年
0	杉野琥太郎	2年
1	平山大勢	2年
4	西岡大豊	2年
5	青山侑生	2年
6	杉山允健	3年
8	廣瀬煌大	2年
9	加藤聖士	2年
10	加藤勝喜	2年
11	茅野蒼汰	1年
14	羽田颯之介	3年
15	吉田優翔	2年
17	福中葉月	2年
18	中里唯人	3年
21	青沼滉大	2年
25	三谷悠真	2年
55	伊藤滉	1年
56	二村輝太郎	2年
88	渡邊優太	2年

東海中央ボーイズ

代表	松尾勝
監督	竹脇賢二
コーチ	阪野治
マネージャー	谷口智英

背番号	氏名	学年
主将 7	東伸之輔	3年
0	井本涼雅	3年
1	伊藤大成	3年
4	大石昇己	3年
6	石川壮真	3年
8	本部涼太	3年
9	市野慎也	3年
10	岡部純陽	2年
11	宮地渉	3年
12	加藤健心	3年
13	岩瀬雄星	3年
14	井手尾哲兵	2年
16	岡江伸英	3年
17	近藤相太	3年
18	松村太誠	2年
19	沖悠人	3年
22	髙橋裟輝亜	3年
23	島田航	3年
25	江﨑亮賀	3年
33	宮下統希	3年
51	篠田光一	3年
55	谷口爽	3年
56	村上颯	2年
62	水谷伊吹	3年
72	加藤龍之介	2年

愛知刈谷ボーイズ

代表	鈴木　直実
監督	西川　浩司
コーチ	田中　亮二
マネージャー	岡本　雄一

背番号	氏名	学年
主将 9	田中　墨斗	3年
1	戸田　虎汰郎	3年
3	藤田　琥次郎	3年
4	太田　大雅	3年
5	青木　結矢	3年
6	松島　諒汰	3年
8	神谷　陽太	3年
10	田ノ上　海空	3年
11	前田　昊星	3年
12	内山　漣	3年
13	後藤　友幸	3年
14	青木　瑛汰	3年
15	後藤　輝侑希	3年
16	金原　正賢	3年
17	浅原　健太	3年
18	松尾　泰佑	3年
19	深見　功建	3年
20	原田　蒼真	3年
21	池田　遼都	3年
23	水上　航	3年
25	南山　藍琉	3年
27	川端　朗仁	3年
28	石川　遙飛	3年

中京ボーイズ

代表	森　義弘
監督	福長　博幸
コーチ	大矢　康弘
マネージャー	袴田　克彦

背番号	氏名	学年
主将 9	高屋　優聖	3年
1	富田　悠月	2年
2	松﨑　蒼太	3年
3	古川　快人	2年
4	野崎　陽真	3年
6	平原　矢眞人	2年
7	服部　塁	3年
11	松尾　龍真	3年
12	星野　匡慶	2年
13	池田　怜央	2年
14	山田　雄治郎	2年
16	川口　賢人	2年
17	伊藤　智弘	2年
19	伊藤　一樹	2年
23	山本　翔太	2年
25	村田　澪始	2年
27	野田　凜	2年
30	加藤　竜稀	2年
33	山本　裕太	3年
37	不破　久凱	2年
46	大口　豊太郎	3年
51	田口　斗陸	3年
86	中西　晴琉	2年
87	中村　楓花	2年

名古屋緑ボーイズ

代表	坂野　晃嗣
監督	内藤　清貴
コーチ	田中　憲次郎
マネージャー	竹内　尚弘

背番号	氏名	学年
主将 39	蟹江　謙介	3年
4	中村　迅汰	3年
6	青木　耀	3年
12	樽澤　寛季	3年
21	鈴木　琉之介	3年
24	川辺　壮馬	3年
25	鈴木　翔悟	3年
27	片山　陸玖	3年
30	杉浦　隼颯	3年
31	河原　煌明	3年
33	脇田　翼士	3年
34	久村　大地	3年
35	高木　虎太郎	3年
36	沼田　真紘	3年
41	鈴木　康太	3年
42	山田　頼旺	3年
43	栗田　諒吾	3年
49	小玉　一秀	3年
53	竹内　佐智人	3年
56	永石　虎丸	3年
65	光本　匠馬	3年
77	石川　翔瑛	3年
86	木下　晴斗	3年
87	武輪　温翔	3年

東名古屋ボーイズ

代表	千田　知弘
監督	伊藤　泰憲
コーチ	中島　聖
マネージャー	濱﨑　美嘉

背番号	氏名	学年
主将 28	三浦　天和	3年
0	竹内　雄惺	2年
2	和田　凌太郎	3年
6	都築　拓真	3年
7	松永　透和	2年
13	山元　優成	3年
18	内田　修太	3年
19	野津　僚介	3年
20	寺戸　大凱	3年
22	佩川　新	3年
23	社本　琢真	3年
24	飯田　椋大	3年
26	竹内　龍飛	3年
37	森下　桜海	3年
39	大島　善也	3年
41	鹿島　蓮矢	3年
51	今山　結登	3年
53	川瀬　泰成	3年
55	中西　望遥	2年
59	加藤　航大	3年
77	舘　颯人	3年
88	丸山　哲平	3年

愛知知立ボーイズ

代表	土屋　尚史
監督	西川　弘樹
コーチ	横井　俊雄
マネージャー	

背番号	氏名	学年
主将 6	富田　陽日	2年
0	長谷　徠斗	1年
5	加藤　優心	2年
7	矢田　都恭	1年
8	越山　市温	2年
11	近藤　慎之介	1年
13	市野　透也	2年
15	鈴木　蓮	1年
17	杉山　和紀	2年
19	平賀　翔大	2年
20	加藤　鳳晃	2年
21	水野　汰一	2年
22	根本　蒼大	2年
23	平松　大惺	2年
24	川井　惇寛	2年
25	塚本　貫太	2年
27	間瀬　海翔	2年
33	山内　瑛太	1年

三好東郷ボーイズ

代表	鳥居　剛
監督	安達　豪也
コーチ	伊藤　貴生
マネージャー	

背番号	氏名	学年
主将 27	堀央　征	3年
0	平松　蒼唯	3年
1	岡田　樹磨	3年
5	下川　輝流	3年
6	村田　涼	2年
11	谷川　源之助	2年
15	金子　瑛士	2年
16	大嶋　元晴	2年
17	槇　建二朗	3年
21	片岡　蒼太	2年
24	木本　優斗	3年
25	篠村　勇輝	2年
29	酒井　稜真	3年
33	岩田　朔弥	2年
39	安倍　涼真	3年
42	中平　亘	3年
49	小酒井　楓麻	3年
56	高島　倖	2年
69	金原　優大	3年
94	斉藤　朋佑	2年

豊田ボーイズ

代表	多和田　健次
監督	釜田　尚毅
コーチ	松井　勇人
マネージャー	野村　寿道

背番号	氏名	学年
主将 77	小林　航	3年
0	村田　久遠	2年
1	髙洲　凌央	2年
2	上田　響	3年
5	紺野　凌也	2年
6	池田　有我	1年
10	清田　凌平	2年
11	板倉　遥眞	3年
12	正垣　馨一	2年
13	野村　應太	2年
15	鈴木　胡太朗	2年
16	杉浦　颯真	2年
18	犬塚　楓志	3年
19	加藤　翔亜	2年
20	上田　侑生	3年
21	深田　逢斗	3年
23	木曽　耀太	1年
24	福田　凛空	3年
25	勝田　悠斗	2年
26	横澤　琢巳	2年
27	松嶋　哉汰	2年
28	白柿　武琉	1年
31	松永　空	3年
34	内山　元晴	2年
99	今井　大斗	2年

愛知港ボーイズ

代表	小河　徳和
監督	堀田　将司
コーチ	大須賀　辰郎
マネージャー	糸井川　誠

背番号	氏名	学年
主将 99	ラマル　ギービン　ラタナヤケ	3年
2	阪野　夢一斗	3年
3	鈴木　勇駕	3年
4	西川　怜佑	3年
6	野々山　翔也	3年
9	林　亮太朗	3年
10	大江　晃誠	3年
11	生方　康瑛	3年
12	宮島　陽平	3年
13	周防　類斗	3年
16	西岡　依丸	2年
18	伊藤　璃空	2年
20	矢野　仁貴	3年
22	加藤　憂	3年
23	早川　諒	2年
24	池田　堂来	2年
27	谷口　大和	2年
28	武智　遥士	2年
30	太田　悠斗	3年
34	谷口　大弥	3年
41	辻　莉來	3年

名古屋中央ボーイズ

代表	樋田　善光
監督	角　将人
コーチ	竹内　文明
マネージャー	竹内　晃右

背番号		氏名	学年
主将	21	落合　大晴	3年
	12	二之湯　慶亮	3年
	13	竹田　蒐	3年
	14	渡辺　晄成	3年
	20	木谷　陸人	3年
	22	武藤　寛征	3年
	25	小野澤　航洋	3年
	26	多賀　大和	2年
	27	宝剣　和翔	3年
	28	伊藤　剛琉	3年
	29	杉本　誠志郎	3年
	30	杉本　健太	3年
	31	竹内　巴琉	3年
	32	神農　雄大	2年
	33	山田　朔也	3年
	34	日和田　凌多	3年
	35	原田　広大	3年
	36	加世田　煌大	2年
	39	長野　晴太	3年
	41	川合　泰地	3年
	44	奥村　凌太	2年
	56	柴田　恭吾	3年
	61	本田　大翔	2年
	62	奥村　優翔	3年
	99	秦　傑	2年

愛知知多ボーイズ

代表	濱野　晃一
監督	尾形　嘉崇
コーチ	渡邉　弘貴
マネージャー	林　真吾

背番号		氏名	学年
主将	51	中野　颯飛	3年
	0	岩下　颯真	3年
	1	隈部　条	3年
	2	荒木　海璃	3年
	3	山田　翔太	3年
	5	櫨場　皓大	3年
	6	大堀　蓮斗	3年
	8	澤田　亮汰	3年
	10	川田　大葵	3年
	11	杉浦　成海	3年
	13	杉浦　仙太郎	3年
	17	竹内　春澄	3年
	18	立松　海斗	3年
	23	安藤　優哉	3年
	27	川添　翼	3年
	30	下田　健太	2年
	31	林　佑真	3年
	33	黒澤　慧	3年
	36	柴田　真徳	3年
	41	野村　空巨	3年
	44	間瀬　寛都	2年
	55	尾崎　漣哉	3年
	56	重松　寿翔	2年
	64	竹内　尚輝	3年
	70	藤田　琉輝	2年

愛知安城ボーイズ

代表	西脇　利幸
監督	西脇　侑吾
コーチ	西川　正晃
マネージャー	橋本　匡史

背番号		氏名	学年
主将	5	川分　颯人	2年
	1	萬部　光祐	2年
	2	外山　成竜	2年
	3	鈴木　陽太	2年
	4	石川　稜馬	2年
	6	中山　達椰	2年
	7	千葉　心楽	2年
	8	小野　里葵	1年
	9	伊藤　快晟	2年
	10	鈴木　夢人	2年
	12	由良　蒼葉	1年
	15	石川　凜明	1年
	18	鈴木　煌人	2年
	19	磯谷　彰吾	2年
	22	土谷　琉斗	2年
	23	中井　惺乎	2年
	24	出口　達也	2年
	29	出口　智也	1年
	32	三丸　慶太郎	2年
	33	椎野　弘基	2年
	46	鍋内　比呂	2年
	51	竹田　新	1年

日本少年野球　エスエスケイ旗争奪大会優勝・準優勝チーム

第　1　回 （令和元年）	中学生の部	優　勝 愛知知多ボーイズ	準優勝 東海中央ボーイズ
第　2　回 （令和2年）	中学生の部	優　勝 東海ボーイズ	準優勝 東海中央ボーイズ
第　3　回 （令和3年）	中学生の部	優　勝	準優勝

BSO BASEBALL SCHOOL

なりたい自分へ、はじめの一歩！

新年度スクール生募集！

BSO BASEBALL SCHOOL

■アドバイザー
元中日ドラゴンズ川又米利

■アドバイザー
元中日ドラゴンズ友永翔太

体験会受付中。

プロの技術が学べる、個別指導の野球上達塾！ワンランク上の指導を一度体験ください。

夢を叶える、野球上達塾！

BSO　野球塾　検索

■アドバイザー
元中日ドラゴンズ彦野利勝

■お問い合わせ・体験申込 はコチラまで　052-715-3555　［電話受付　平日 10:00～17:00］

BSO 野球上達塾事務局

〒465-0041 名古屋市名東区朝日が丘１番地１勝野ビル 3F

info@bsobb.net

詳しくはwebサイトをご覧ください。　URL bsobb.net/school/

YouTube

株式会社エスエスケイ お客様相談室 0120-50-7789（月）～（金）午前9:30～午後5:30（祝日を除く）